

宝塚市包括ケア推進協議会各部会の活動内容（令和6年度）について

1 介護予防部会の活動内容

取組の方向性	・ 社会参加の機会を持つ ・ 元気な時から介護予防に関心を持つ ・ 介護サービスの利用開始時期が延伸する
開催日と議題	【1回目：8月28日実施分】 1 市からの報告 2 介護予防の取組について各所属からの報告 3 介護予防の市民への周知方法等について 【2回目：書面にて報告】
主な協議内容	1 市からの報告 市より、令和5年度宝塚市地域包括ケア推進協議会開催の報告と宝塚市地域包括ケア推進プランの重点項目の説明を行った。 2 介護予防の取組について各所属からの報告 各団体で実施している介護予防に関する取組について、各参加者が事例紹介を行い、相互理解を深めた。 ・ リハビリテーション専門職派遣事業を実施し、いきいき百歳体操の会場に近い事業所の専門職に会場に出向いて指導いただいた事例 ・ 歩数等を記録する用紙を配布し、記録が埋まった用紙を市役所に持ってきていただいた方に表彰状を渡すウォーキング事業を実施したところ、男性の介護予防事業参加者割合を増やすことができた事例（いき百の男性参加率は1.5～2割程度だが、本事業の参加率は3割を超えている） ・ いきがい就労トライアルを実施し、84歳の雇用があった事例 ・ クールシェアスポットでスタンプラリーを実施したところ、高齢者向けの施設に親子連れなどが訪れ、新しい人の繋がりができた事例 3 介護予防の市民への周知方法等について いきいき百歳体操やサロン、認知症カフェ、老人クラブなどの通いの場の情報を、HP上の地図情報にまとめた「たからづかおすすめシニアスポット」のチラシ案の共有を行うとともに、周知方法のあり方について、意見交換を行った。チラシに掲載されているアドレス及び二次元バーコードは、2025年4月に公開となる。
今後の活動予定	・ 令和7年度は2回開催予定 ・ おすすめシニアスポットについて、公開・周知を行う。

2 在宅医療・介護連携部会の活動内容

取組の方向性	・自分が望む場所で退院後の療養生活を再開できる ・人生の最終段階の過ごし方について考える場を持つ
開催日と議題	【1回目：7月3日実施分】 1 令和5年度第1回宝塚市地域包括ケア推進協議会に係る報告 2 前回会議からの継続検討事項 3 各所属からの報告 【2回目：12月9日実施分】 1 MCS及び宝塚あんしんネットに関するアンケート調査の実施結果について 2 宝塚市医師会の事業計画案の内容について 3 各所属からの報告 【3回目：2月10日実施分】 1 独居高齢者の緊急連絡先等の情報集約について 2 MCS及び宝塚あんしんネットに関するアンケート調査結果の検証について 3 各所属からの報告
主な協議内容	1 在宅療養支援センターについて 必要性等について議論を行い、現時点では必要がないことを確認した。 2 MCS及び宝塚あんしんネットに関するアンケート調査について MCSについて、市内の医療・介護従事者を対象にアンケート調査を実施した。結果を確認し、全員にとって使いやすく魅力あるツールとして必要な運用ルールや機能について、引き続き議論していくこととなった。そして、宝塚あんしんネットのルールを変更し、MCSを市のICTシステムにおけるプラットフォームにすることを、宝塚市地域包括ケアシステム推進協議会に報告することとなった。 3 独居高齢者の緊急連絡先等の情報集約について 各市の事例を確認した後、どのような情報を集約するのか、本人の望む終活に繋がるシステムとはどのようなものか引き続き議論していくこととなった。
今後の活動予定	・令和7年度は2回開催予定 ・「MCS及び宝塚あんしんネット」及び「独居高齢者の緊急連絡先等の情報集約」に関する議論を進める。 ・引き続き、多職種間の連携を進める。

3 認知症施策部会の活動内容

取組の方向性	・認知症の人も含めた誰もが、いきいきと暮らし続けられる地域づくりを進める
開催日と議題	【1回目：10月2日実施分】 1 宝塚市地域包括ケア推進プランについて 2 認知症についての啓発に関する取り組みについて 3 その他 【2回目：2月27日実施分】 1 認知症に関する取り組みについて 2 課題の解決に向けた意見交換 ・認知症の人の声を聴く機会が少ない ・認知症の人のしたいことを実現するために 3 各機関等からの報告
主な協議内容	1 認知症についての啓発に関する取り組みについて 9月の世界アルツハイマー月間に、オレンジ色のダリアや、オレンジ色の花の種を地域のサロンや老人会、子ども会等に配布し啓発してはどうか、等の意見がでた。 2 認知症に関する取り組みについて 宝塚は家族の会がないため、当事者が家族ときてゆっくりできるような認知症カフェ（オレンジカフェ）があることは良い。オレンジカフェの存在をケアマネジャーに伝えて、興味がある人に情報が届くよう周知を図ったり、カフェ同士の交流を持つなどしてオレンジカフェのさらなる発展につなげたい。 3 認知症の人がやりたいことを実現する方法について 介護者も本人も身体を動かすことができる機会や、認知症の人も気軽に買い物ができる機会があるとよい。近隣の大学等にご協力いただくのはどうかという意見もでた。買い物については、スローショッピングの取組を宝塚阪急で実施している。
今後の活動予定	・令和7年度は2回開催予定 ・引き続き意見交換を実施し、認知症施策の検討を進める。